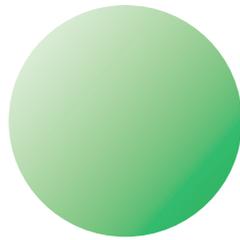


関東・水と緑のネットワーク拠点百選

～将来に残したい「自然・風景・人」のつながり～

選定団体事例集 2

(第3回、4回選定 NO.39～62)



趣旨・目的

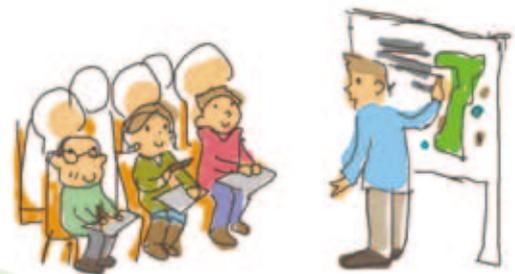
太陽や雨の下で植物は育ち、その植物には様々な生きものが集まってきます。古来より、私たちはそれらの動植物を衣食住のために利用していきました。また、自然と人の関わりのなかから文化や芸術が生まれ、伝統的な行事などを通じて人と人とのつながりが保たれてきました。私たちの生活はまさに自然との共生の上に成り立ってきたと言えます。

都市化が進んだ現在、私たちの生活は大変豊かで便利になりました。しかし、その陰で多くの自然が減り、生きものたちの生きる場所が少なくなっています。それは、自然環境や人間社会の問題となって、私たちの生活に様々な影響を及ぼしています。こうした現状を受け、多くの生きものたちと共に暮らす生活を取り戻す必要性を感じ、日々活動されている方々がいます。

「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」では、関東地域において、川・池・湿地・海辺などの「水」、雑木林・草原などの「緑」といった将来に残したい自然とそこで活動している主体を募集し、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」として選定しています。選定された主体に対して費用負担、技術アドバイス、広報など様々な方法で支援しています。

選定地に対する支援

選定地に選ばれた拠点へ、状況に応じて様々な支援を行っています。



費用を支援します。

生物調査や継続的な保全管理などを行うことで、水と緑のネットワーク拠点としての質を高める取り組みを支援します。

選定地にはこのような支援を行っています

アドバイスをしています。

選定地の自然環境に適した保全管理方針や日常的な維持管理手法について適切なアドバイスや情報提供の支援を行います。

活動を広くPRしています。

選定地を掲載した冊子、ウェブサイトなどを通じて、保全活動が元気になるように広報します。



水と緑のネットワーク対象例

河川や道路にとどまらず、社有地・公共施設、校庭など幅広い活動も対象としています。

「水と緑のネットワーク」の考え方

野生の生きものがくらすには、様々な自然環境が必要です。例えばトンボの幼虫は水辺で生まれ、大きくなると草地でくらしします。水と緑のネットワーク拠点がたくさんできてつながっていけば、減りつつある日本の生きものが、これからも安心して生きていくことができるようになります。

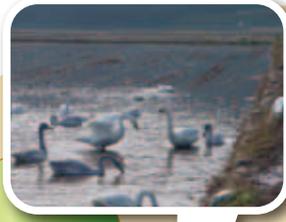


雑木林

都会の身近な自然である雑木林は、動植物の貴重なすみかとなります。

田んぼ

冬でも田んぼに水をはることで、水鳥などが飛来します。



学校・園庭ビオトープ

子どもたちが主体となったビオトープづくりはよりよい環境教育につながります。

街路樹

複数種類の在来樹木を植えると、道路沿いにネットワークができあがります。



屋上・壁面緑化

屋上や壁面を在来植物で緑化することで、周辺の自然とつながります。



水路

水路沿いの在来植物を守ると、水路は多様な生きものの宝庫になります。



湿地

河川敷や湿地は、山と海、都市と川の自然をつなぐネットワークの軸です。



公園

公園内に在来の樹木や植物を選んで植えると、自然の質が高まります。



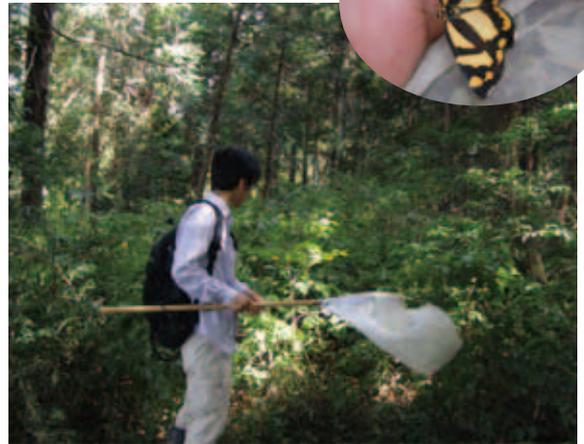
事業所

事業所内に在来植物などを植えると、地域の自然と調和します。

ポイント1

自然を知る

- ・自然と向き合う上で、自然を知ることが重要です。その土地に本来生息・生育している生きもの（動物・植物）を知った上で、現在はどんな生きもの（動物・植物）が生息・生育しているかを調べることが大切です。
- ・自然は変化し続けます。特に、植生の変化は常に把握しましょう。突然の外来種の繁茂など、植生の変化が見られたのであれば、それはフィールドが変わっているサインです。
- ・水質は、その地域の自然の状態を示す大きな要素の一つです。水の状態（濁り具合、臭い、水位、水量、水温など）の変化を季節ごとに観察するとよいでしょう。



選定地について動植物調査を行い、その後の植生管理に役立
てます。

第1回選定団体・けやの森学園

ポイント2

目的・管理方法

- ・活動を進めていくにはその場所の将来像が決まっていないと進められません。
- ・その場所をどんな生きものたちがくらす場にした
いのか、明確にイメージできますか？どんな
生きものに来てほしいのか具体的な種名を挙げ
てみましょう。
- ・その場所の30年前、50年前がどんな姿だったの
か調べてみると参考になります。



目標種の一つであるカブトムシを呼び込めるよう、園庭の
中に落ち葉溜めを作りました。

第2回選定団体・栗橋さくら幼稚園

ポイント3

すすめ方

- ・短期的な5～10年といった人間の時間だけで物事を考えず、時間が経つごとに自然がどう変化していくかを自然の時間で考えてみてはどうでしょうか。
- ・必要以上に手を入れず、自然に周辺からやってくる生きもの(動物・植物)を待ち、またその変化を見守るという考え方も重要です。
- ・得られた情報や知見だけでは結論が見えず、整備のあり方について最善策が導き出せない場合は、無理に手を付けずに、そのままにしておくことも一つの選択肢です。
- ・拠点となる土地の地権者の方や土地の管理に関連する関係主体との調整はとても大切です。



話し合いを続けながら今後の整備方針や手順についてメンバー間で共有していきます。

第1回選定団体・ふるさと上谷沼地域創造塾

ポイント4

継続性・広がり

- ・自然を守り育むことができるのは人です。活動を継続していくための人づくりもまた欠かせません。
- ・周辺の教育機関などと連携し、幅広いネットワークを創出し、活動に活かしていくことで、活動をより広がりのある充実したものにすることができます。



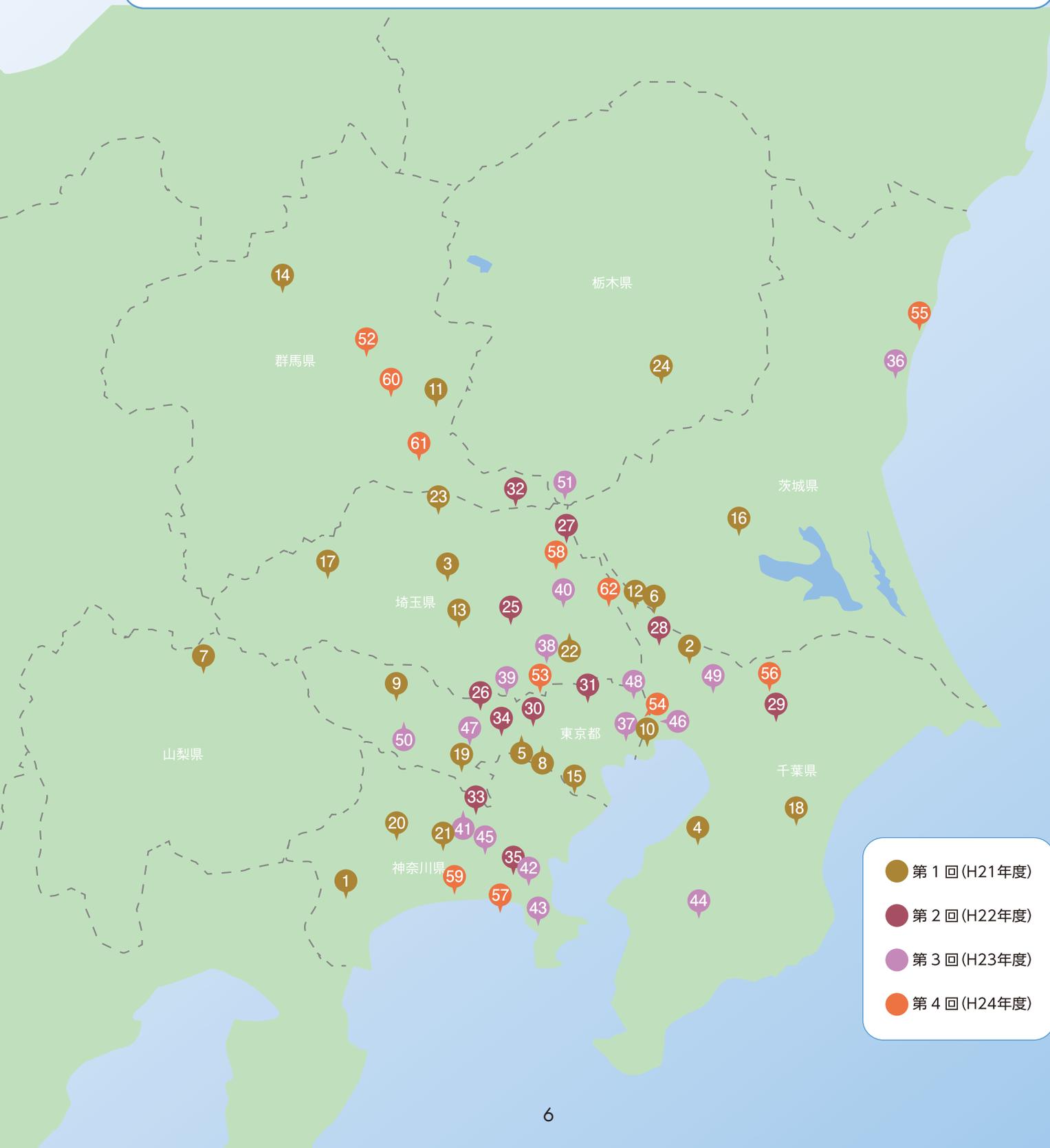
近隣の企業の新人研修とタイアップして選定地の管理作業に取り組んでいます。

第2回選定団体・NPO法人荒川の自然を守る会

選定地・選定団体一覧

「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」は、第1回（平成21年度）より第4回（平成24年度）までに、全62件の将来に残したい自然とそこで活動している主体を選定しています。

選定される団体の中には、長年、実績を重ねて来られた団体も、またこれから活動をスタートする団体もございます。「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」では、必要に応じた支援を適宜実施しながら、自然と共存した持続可能な地域づくりを応援していきます。



NO.	選定団体名	所在地	選定地(活動地)
1	アサヒビール(株)神奈川工場	神奈川県 南足柄市	アサヒ・ピオガーデン
2	我孫子市(谷津ミュージアムの会事務局)	千葉県 我孫子市	谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)
3	市野川水系の会イン滑川町	埼玉県 比企郡滑川町	市野川羽平橋~両家橋間・周辺農地
4	市原市立有秋東小学校	千葉県 市原市	有秋東小学校ビオトープ
5	井の頭外来生物問題協議会	東京都 武蔵野市	東京都立井の頭恩賜公園 井の頭池
6	NPO 法人 NPO さとやま	千葉県 流山市	市野谷の森
7	乙女高原ファンクラブ	山梨県 山梨市	乙女高原
8	柏の宮公園自然の会	東京都 杉並区	杉並区立柏の宮公園
9	NPO 法人 観音山丘陵調査	群馬県 高崎市	(非公開)
10	行徳野鳥観察舎友の会	千葉県 市川市	千葉県行徳野鳥保護区
11	桐生市	群馬県 桐生市	桐生自然観察の森
12	グループうえっと	千葉県 野田市	はきだし沼
13	けやの森学園	埼玉県 狭山市	日高市大谷沢の林
14	Sarugakyo Fire Fry Club (猿ヶ京ホテルの会)	群馬県 利根郡みなかみ町	猿ヶ京温泉西川緑地 親水公園周辺
15	JFE エンジニアリング(株) 鶴見製作所	神奈川県 横浜市	JFE トンボみち
16	NPO 法人 穴塚の自然と歴史の会	茨城県 土浦市	穴塚大池
17	NPO 法人 秩父の環境を考える会	埼玉県 秩父市	ちちぶの棚田、昆虫の森
18	千葉県立茂原樟陽高等学校	千葉県 茂原市	一宮町御堂谷の谷津田周辺
19	長池里山クラブ	東京都 八王子市	八王子市長池公園里山体験ゾーン
20	秦野市くずはの広場	神奈川県 秦野市	葛葉緑地
21	馬入水辺の楽校の会	神奈川県 平塚市	馬入水辺の楽校区域(相模川下流)
22	ふるさと上谷沼 地域創造塾	埼玉県 さいたま市南区・川口市	上谷沼調節池周辺
23	別府沼を考える会	埼玉県 熊谷市	別府沼公園水生植物保護区域
24	真岡自然観察会	栃木県 真岡市	鬼怒水辺観察緑地
25	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	埼玉県 上尾市・川越市・川島町	三ツ又沼ビオトープ
26	学校法人柿沼学園 栗橋さくら幼稚園	埼玉県 久喜市	じんだんぼうのやま
27	北川かっぱの会	東京都 東村山市	八国山と北山公園(北川を含む)
28	特定非営利活動法人 こんぶくろ池自然の森	千葉県 柏市	こんぶくろ池自然博物館(仮称)
29	酒々井里山フォーラム	千葉県 酒々井町	西井戸の里
30	自然愛護会杉並	東京都 杉並区	東京都立善福寺公園
31	新田自然保護の会	東京都 足立区	新田わくわく♡水辺広場
32	東洋水産㈱関東工場	群馬県 館林市	東洋水産㈱関東工場ビオトープ
33	東若会	神奈川県 相模原市	(東大沼・若松地区)「木もれびの森」
34	はげの自然を大切にする会	東京都 小金井市	小金井はげの森とキンヒバリの里
35	舞岡公園田園・小谷戸の里 管理運営委員会	神奈川県 横浜市	舞岡公園(田園体験区域)
36	赤羽緑地を守る会	茨城県 日立市	赤羽緑地
37	里川小松川自然地協議会 (旧・荒川クリーンエイド・フォーラム)	東京都 江戸川区	小松川自然地
38	社会福祉法人ひなどり保育園 浦和ひなどり保育園	埼玉県 さいたま市	どんぐり山
39	金山調節池ワークショップ	東京都 清瀬市	柳瀬川・金山調節池
40	NPO 法人 黒浜沼周辺の自然を大切にする会	埼玉県 蓮田市	黒浜沼周辺
41	NPO 法人 相模原こもれび	神奈川県 相模原市	相模原市木もれびの森
42	瀬上さとやまの会 (旧・瀬上の森パートナーシップ)	神奈川県 横浜市	瀬上市民の森
43	大和ハウス工業株式会社	神奈川県 三浦郡葉山町 (一部横須賀市、逗子市)	大和ハウス工業 葉山の森
44	千葉県立君津青葉高等学校	千葉県 君津市	千葉県立君津青葉高等学校 演習林 (愛宕、一念坊、梅ヶ瀬)
45	トコロジストの会	神奈川県 大和市	上和田野鳥の森
46	ぼっけ生きもの倶楽部	千葉県 市川市	大柏川第一調節池緑地
47	ママ下湧水公園の会	東京都 国立市	ママ下湧水公園
48	特定非営利活動法人 水元ネイチャープロジェクト	東京都 葛飾区	東京都立水元公園復元ゾーン
49	特定非営利活動法人 谷田武西の原っぱと森の会	千葉県 白井市・印西市	谷田武西の谷津と原っぱ
50	横沢入里山管理市民協議会	東京都 あきる野市	横沢入里山保全地域
51	わたらせ未来基金	栃木県 小山市	渡良瀬遊水地第2調節池 試験掘削地環境学習フィールド
52	赤城姫を愛する集まり	群馬県 渋川市	赤城山ヒメギフチョウ生息地
53	あさか環境市民会議	埼玉県 朝霞市	根岸山里山再生林
54	市川緑の市民フォーラム	千葉県 市川市	国府台フジバカマの里
55	茨城県立日立第一高等学校・附属中学校	茨城県 日立市	東滑川海浜緑地
56	財団法人 印旛沼環境基金	千葉県	印旛沼
57	NPO 法人 鎌倉広町の森市民協議会	神奈川県 鎌倉市	鎌倉広町緑地
58	財団法人 埼玉県生態系保護協会 久喜支部	埼玉県 久喜市	埼玉県久喜市香取公園
59	三翠会	神奈川県 茅ヶ崎市	湘南タグリ米の里
60	サンデンファシリティ株式会社	群馬県 前橋市	サンデンフォレスト・赤城事業所
61	NPO 法人 新田環境みらいの会	群馬県 太田市	矢太神沼及び谷地池周辺
62	水辺の丘運営協議会	埼玉県 春日部市	国土交通省首都圏外郭放水路 庄和排水機場敷地域内

C O N T E N T S

「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」とは？	2
活動を行う上でのポイント	3
「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」全選定団体一覧	6
選定団体事例紹介	9

選定団体事例紹介

第3回選定団体(H23年度)

File	
36. 赤羽緑地を守る会	9
37. 里川小松川自然地協議会	10
38. 社会福祉法人ひなどり保育園 浦和ひなどり保育園	11
39. 金山調節池ワークショップ	12
40. NPO 法人 黒浜沼周辺の自然を大切にする会	13
41. NPO 法人 相模原こもれび	14
42. 瀬上さとやまもりの会	15
43. 大和ハウス工業株式会社	16
44. 千葉県立君津青葉高等学校	17
45. トコロジストの会	18
46. ぼっけ生きもの倶楽部	19
47. ママ下湧水公園の会	20
48. 特定非営利活動法人水元ネイチャープロジェクト	21
49. 特定非営利活動法人谷田武西の原っぱと森の会	22
50. 横沢入里山管理市民協議会	23
51. わたらせ未来基金	24

第4回選定団体(H24年度)

File	
52. 赤城姫を愛する集まり	25
53. あさか環境市民会議	26
54. 市川緑の市民フォーラム	27
55. 茨城県立日立第一高等学校・附属中学校	28
56. 財団法人 印旛沼環境基金	29
57. NPO 法人 鎌倉広町の森市民協議会	30
58. 財団法人 埼玉県生態系保護協会 久喜支部	31
59. 三翠会	32
60. サンデンファシリティ株式会社	33
61. NPO 法人 新田環境みらいの会	34
62. 水辺の丘運営協議会	35

DATA

活動地：茨城県日立市

面積：73,000㎡

活動開始時期：2003年4月

URL：<http://www.geocities.jp/akaryoku/>

活動内容について

赤羽緑地（自然観察ふれあい公園）は雑木林に囲まれた盆地で中央に大小のため池を有し、年間を通して70数種類の野鳥が観察され、珍しいネキトンボをはじめ、ホタル・メダカ・ザリガニなどの水生生物や、希少水生植物のミクリやヒシなど様々な動植物が身近に見られます。観察池は子どもたちが池の中に入って水生生物を観察することもできます。また園内には古墳時代の史跡横穴墓があり、豊かな自然環境に恵まれているため、開園以来地域の小学校の自然観察学習の場として頻りに利用されています。また地域住民の憩いの場ともなっています。

「赤羽緑地を守る会」は日立市から公園里親の認定を受けたボランティア団体で、緑地の維持・管理活動を行っています。定期的な草刈りや清掃、施設管理、観察池や史跡の保全活動の他、年間を通して植樹や野鳥観察会・トンボなどの昆虫採集・ザリガニ捕り大会などのイベントを実施しています。また枯損木を伐りだしてベンチや階段の材料としてリサイクルしたり、カブトムシやホタルの生息環境を整えたり、ミズバショウやクリソウの植栽に取り組むなど、絶えず新しい試みで緑地を育てています。そして子どもたちには安心して遊べる水辺、自然の中で動植物を観察できる学習の場、地域の人たちにとって四季を通して心を癒せる憩いの環境を提供できるよう活動しています。



観察池で小学生たちが自然観察学習をしている様子です。池の中に入って生きもの調査をしています



野鳥の池のヨシ刈り取り作業の様子です。水鳥のために生い茂ったヨシを刈り取り池の水面を開けています

DATA

活動地：東京都江戸川区

面積：6,000㎡

活動開始時期：2012年1月

URL：<http://www.cleanaid.jp/>



活動内容について

東京らしい里川の創造を目指し、里山にちなんだ「里川」をモットーに、市民・企業・行政が協働して自然地の利用と維持管理を促進する活動を展開しています。

荒川の河口に近い小松川自然地は、都心からのアクセスもよく、周囲には高層マンションが立ち並び、多くの地域住民に親しまれている都市河川の自然地です。国土交通省では環境復元のために、2000年よりコンクリートの護岸を取り去り、現在ではヨシやイセウキヤガラなどの植物が広がり、干潟にはカニやトビハゼが棲む自然豊かな水辺がよみがえりました。

1999年よりこの地で続けてきた、清掃活動「荒川クリーンエイド」を中心とした生きものたちの棲みかを守る活動は、2011年、東京都の「新しい公共」モデル事業への採択を契機に、地域の市民団体と江戸川区が構成する協議会体制で新たにスタートし、「小松川自然地・里山プロジェクト」として大きな飛躍を果たしました。

外来種セイタカアワダチソウの除草、冬季のヨシ刈り、自然環境教室などを組み合わせたプログラムを地域・小学校・民間企業向けに行い(2012年の参加者は約2300人)、市民参加の自然地管理を推進しています。

また、専門家を交えた植生モニタリングに加え、市民参加のモニタリグ「バッタ・キリギリス調べ」なども行い、地域・企業の皆様と共に自然の変化を見守っています。

※里川小松川自然地協議会は、荒川クリーンエイド・フォーラム、下平井水辺の楽校、中土手に自然を戻す市民の会、江戸川・生活者ネットワーク、江戸川区により構成されます。



市民参加で外来種セイタカアワダチソウを除草、どんな植生が戻るか経過観察しています



活動のシンボル、サインボード。活動前にはいつもここで参加者に主旨をご紹介します

社会福祉法人 ひなどり保育園 浦和ひなどり保育園

—どんぐり山—

File 38

DATA

活動地：埼玉県さいたま市

面積：2,100㎡

活動開始時期：2006年6月

URL：<http://hinadori.hoikuen.to/>



活動内容について

どんぐり山は JR 埼京線・中浦和駅より徒歩 10 分の住宅街の中、医王寺境内の墓地に隣接した場所にあります。長年人の手が入らず、木々や竹林がうっそうと生い茂っていた寺の裏山にて、自然を再生しながら子どもたちが地域の生きものとふれあい、自由に遊べる場を作ろうと 2007 年 6 月に（財）埼玉県生態系保護協会のご指導のもと隣接する浦和ひなどり保育園が中心となって山のビオトープを整備していきました。現在では増えすぎた竹林を減らす為、タケノコを採って食べたり、落ち葉を掃いて腐葉土にしたり、クズのつるを採ったりとできる整備を保育士や子どもたちが楽しみながら行っています。

山からは毎日の様に子どもたちの遊び声がひびき渡り、環境を活かした自然遊びの体験や当番活動、食育活動や制作活動などを通して、0 歳児から 6 歳児の子どもたちが実体験の中から多くの教訓を学んでいます。

また保護者や地域に呼びかけ、ワークショップや親子で自然の中で遊ぶ機会なども提供し、子どもたちと自然との接点を出来るだけ増やそうとしています。人間も含めた生き物の繋がりの大切さ、楽しさ、素晴らしさを皆で共有しながら次世代に地域本来の自然を残していけたらと考えます。



どんぐり山は子どもたちにとって遊びの宝庫です!!



落ち葉のお掃除。子どもたちなりにできる仕事を楽しみながらお手伝いしています

金山調節池ワークショップ

—柳瀬川・金山調節池—

File 39

DATA

活動地：東京都清瀬市

面積：約 32,000m²

活動開始時期：2001 年 10 月



活動内容について

金山調節池ワークショップは、洪水調節池に創生した豊かなビオトープを保全しています。

ビオトープには多様な動植物が生息していますが、それぞれの動植物が生息できる環境を保全していく活動によって、生物間のネットワークが維持されています。

保全活動は、ビオトープの季節的な移り変わりに対応した計画的な作業、洪水の流入や強風による倒木に対応した緊急作業、清掃・調査・監視等の日常活動から成り立っています。早春の作業では、多様な植生と水環境の保全ために、枯草刈り・水路の整備・アカガエルとカマキリの卵塊の保護・希少種の保護などを行い、初夏には、在来種の植生と水質の保全のために、外来種の除草・アオミドロやヘドロの除去などを行い、秋から初冬には、多様な植生とヤナギ林の保全のために、群落の管理・希少種の育成・ヤナギの剪定や更新などの作業を行なっています。これらは大勢のボランティアによる年間 10 回程の計画的な活動です。

こうした保全活動と併せて、調節池をフィールドにして、小学校の総合学習への協力、市民参加の自然観察会や探鳥会の開催など、自然環境に親しむ活動も行っています。

現在では、市民が身近に湿地の動植物とふれあえる場所として、水辺の賑わいが回復しています。



早春の作業は、多様な植生と健全なビオトープを保全する重要な保全活動です



外来種の除草は、生物多様性の基本的な作業で、初夏から晩秋まで行います

DATA

活動地：埼玉県蓮田市

面積：約 12,000㎡

活動開始時期：1987年5月



活動内容について

会は1987年5月、「谷地沼として貴重な生態系を維持している」との理由で埼玉県自然環境保全地域に指定されている、黒浜沼上沼・下沼二つの沼とその周辺の自然を確実に保全していこう、と蓮田市や市民有志の呼びかけで発足。当時の会員は、地権者や市民有志40人でしたが、現在は160余人です。2000年12月には特定非営利活動法人として再発足しました。

会活動の大きな柱は、沼周辺の動植物の生育環境の整備と保全です。併せて優れた自然環境を活かした環境学習の推進と充実です。また、2009年には蓮田市の指定を受けて蓮田市環境学習館の管理・運営に当たりその活動の推進とともに埼玉県の緑のトラスト11号地として黒浜沼周辺のトラスト保全活動にも力を入れています。

ホタルの復活は会の長い間の懸案でした。1999年2月にわき水がある休耕田を借り、500㎡の水場を造成、周辺のヨシ原や休耕田を探してほんのわずかのヘイケボタルを放しました。その結果、ホタルが年ごとに周辺のヨシ原に広がり、今では毎年7月上旬から8月下旬まで沼周辺の夜を光の輪が彩ります。

ホタルの保全と併せて周辺には、希少植物のジョウロウスゲやナガボノシロワレモコウ・ナガボノアカワレモコウ、ミズワラビなどが生育しています。これらの保全も会の大切な活動の一環です。



黒浜沼周辺の水路で定期的に、ホタルの幼虫のエサとなるヒメタニシを採取し、ホタルの里の水場へ放す会員ら



総合学習で黒浜沼周辺を訪れ、会の案内・解説で黒浜沼上沼の水鳥を観察する地元の小学校児童ら

DATA

活動地：神奈川県相模原市

面積：120,000㎡

活動開始時期：2006年11月

URL：<http://komorebi.bine.jp/>



活動内容について

関東では昭和40年以降、東京23区規模の平地林が開発により失われていくなかで、遺されてきた73haという広大な「木もれびの森」は、相模原市のみどりとふれあう拠点として誰もが容易に訪れ、憩い、癒され、楽しみ学ぶことができる市街地に囲まれた貴重な平地林であり、近郊緑地特別保全地区に指定し将来に亘って遺していくことが求められています。しかし、薪炭林は循環資源としての役目を終え、50年以上放置されたため衰退木も多くなり老いた高木の暗い森になっています。町の中にある森は明るく安全であることが大切です。

当会は相模原市や神奈川県とパートナーシップ協定を締結し、森づくりを行っています。まず良い光環境をつくり出し、自然遷移の力を借りながら多様な高・中・低木や林床植生が存在する生態系の豊かな森を目標に、年間を通し保全活動（下刈り、間・除伐、林床整備、散策路整備、植生調査など）や地域の人々の理解と協力を得るための普及啓発活動（自然観察会、作業体験講座、学校環境授業や公民館事業への協力など）を行っています。

森づくりは長い継続した地道な活動です。担い手の確保を図りながらモチベーションを維持しつつ知恵を出し合い頑張っています。



森には多くの枯損木、衰退木、被圧木があります。光環境を改善しています



将来を担っていく子どもたちに森に親しむ機会を提供し、大事にする心を養います

DATA

活動地：神奈川県横浜市

面積：約 1,000㎡

活動開始時期：2005年7月

連絡先：segami.satoyama@gmail.com



活動内容について

瀬上市民の森は、横浜市の南部に広がる円海山緑地（横浜南の森とも呼ばれる）の一角にある谷戸「瀬上沢」に位置します。谷戸は源流域で本来は湿地環境のため、古来、谷戸田と呼ばれる水田が広がっていました。しかし1960年代以降は耕作が放棄され、それに伴って土砂の堆積や乾燥が進み、景観の変化のみならず在来の生きものの生育、生息環境の劣化が進みました。

私たちは横浜の原風景と在来の植生や生きものを保護するため、地域の環境ボランティアや住民の手によって、瀬上の湿地再生の活動をスタートしました。当初から実効性のある保全を実現するため、その環境や生きものの調査（環境調査）、湿地や水辺を再生し維持する作業（環境管理）、そして市民に対する保全意識の啓発（環境教育）という3つの活動のバランスを重視してきました。また、湿地の一部に不耕起で冬期湛水の谷戸田を復活させ、かつての里山的な景観も取り戻しつつあります。

カエルやトンボが産卵し、ホタルが飛び交い、四季を通して在来の野草が咲き、多くの野鳥たちも姿を見せるこの環境をもっと広げ、次世代に引き継いでいくために、これからは人材の育成に更に力を注いでいきたいと考えています。

※百選に選定された時には、瀬上の森パートナーシップ（SMP）として上記の活動を行っていましたが、2012年に横浜市、地権者ならびに瀬上市民の森で活動する市民団体が共同で保全管理計画を策定し、SMPを含む4つの市民団体が統合されました。このため、選定団体名を新団体「瀬上さとやまのりの会」、選定地を「瀬上市民の森」としました。



【調査風景の写真】
生きもの調査は環境省の「モニタリングサイト1000里地調査」に参加して行っています



【田植えの写真】
不耕起で冬期湛水の谷戸田には早春にたくさんのヤマカガエルが産卵にやってきます

DATA

活動地：神奈川県三浦郡葉山町
(一部横須賀市、逗子市)

面積：約 3,300,000㎡

活動開始時期：2009年6月

URL：<http://www.daiwahouse.co.jp/>



活動内容について

「大和ハウス葉山の森」は、多様な動植物が生息し、地域の方々から愛される自然豊かな森林・里山です。現在、地域の方々から自然に親しむ場として整備・活用に取り組んでいます。

2011年度より生態系調査を開始し、「神奈川県版レッドデータブック」に指定されている絶滅危惧種をはじめとした貴重な動植物が存在する生態系であることが裏付けられました。また、生物多様性に優れ、CO₂の吸収に貢献する森林を認定する「フォレストストック認定」を2012年6月1日付で取得いたしました。

2012年10月には神奈川県および葉山町、地元で保全活動をしている二子山山系自然保護協議会と当社の4者間で「葉山森づくり県民協働事業協定」を締結し、協働で自然の維持管理や緑地機能の回復を図るとともに、神奈川県民や首都圏近郊の住民の憩いの場として既存散策路を整備しております。

今後、地元活動団体や当社社員ボランティアとともに既存散策路の整備や森林の間伐などを行い、地域の方々から自然に親しむ場として、また自然観察会を開催するなど子どもたちの環境教育の場として整備・活用していきます。



豊かな自然とふれあうことができる散策路



社員向けに実施した自然観察会での一コマ

DATA

活動地：千葉県君津市

面積：約 564,000㎡

活動開始時期：1933 年 9 月



活動内容について

君津青葉高校食と環境系列は、前身の君津農林高校林業科時代を含めると 79 年にわたり、愛宕、一念坊、梅ヶ瀬の演習林（56.4ha）を保全管理してきました。現在でも、演習林の健全な森林環境を次世代に引き継ぐために、日々活動に取り組んでいます。

1. 手入れの行き届いた森林環境へ回復させる

良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、林床植生や樹木の根を発達させる施業に取り組んでいます。

2. 森林資源の活用の推進

原木シイタケ栽培、木工品の製作など森林資源を活用しています。

3. 希少種の生育、生息の場として森林を機能させる

房総半島の丘陵地帯で約 1 万年前の氷河期から生き延びる稀少植物「ヒメコマツ」の後継樹育成に取り組んでいます。

4. 伝えるための活動を実践

日頃取り組んでいる活動の成果を地域の公民館などで発表しています。また、中学生とドングリ拾いをして、地域苗づくりにも取り組んでいます。これらの活動を通して、地域の方に郷土の森を守ることの大切さを伝えています。



林床への光の配分を多くし、林床植生を豊かにする保育作業のひとつ「枝打ち」



木を収穫利用すると共に、林内に光を入れて林床植生を発達させる「間伐」

DATA

活動地：神奈川県大和市

面積：42,000㎡

活動開始時期：2010年5月

URL：<http://park.geocities.jp/kamiwadabird/>



活動内容について

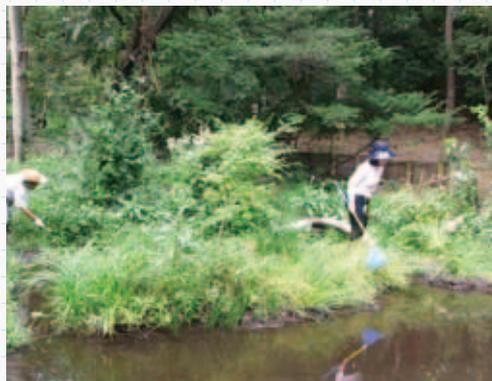
神奈川県大和市にある「上和田野鳥の森」は、広さが4.2haで高低差が約10mの緩やかな斜面緑地です。森の中央部には湧水と湿地があり、オニスゲやツリフネソウの群落など貴重な自然が残されており、湿地に沿って散策路が整備され市民の憩いの場となっています。

森の中にある湿地は、1970年頃まで田んぼで多数の水辺の動植物が生存していたのですが、今は耕作放棄地となり、一部は乾田化し、薄暗い笹藪になっていました。トコロジストの会では地権者や周辺住民の同意、ならびに地元の「上和田野鳥の森を守る会」の協力を得て「ビオトープ池」を掘り、水辺の動植物の再生に努めています。池は2011年末にできたばかりですが、早くも2012年夏にはこれまで無かった水辺の植物が20種類ほど見られるようになりました。また、観察会では、水の中に潜るクモ・キクメハシリグモを見つけました。神奈川県内では初めて見つかったクモで全国でも10都府県ほどでしか見つかっていません。

当会では、生物調査や湿地・緑地の保全・再生・創世を行うとともに、活動により得られた知見を広く市民に公開することにより貴重な自然を守っていきます。



掘ったばかりのビオトープ池（2011年11月）



観察会の模様（2012年9月）

DATA

活動地：千葉県市川市

面積：160,000㎡

活動開始時期：2007年7月



活動内容について

2001年より、大柏川の洪水による浸水被害を軽減する目的に加え、県、市川市と地元住民と共に自然を活かした調節池づくりの検討を重ね、2007年6月末に大柏川第一調節池が完成しました。

開園を機に、自然環境の復元・保全をすると共に、自然に関連する物・情報を通して、地域文化の発展に寄与すること、環境教育・啓蒙に関する事業を通し、地域の教育・学習に寄与することを目的に、ぼっけ生きもの倶楽部が設立されました。

これらの目的を達成するために、次の事業を進めています。

- ①大柏川第一調節池における多様な生物生息環境の維持管理を支援する事業
- ②要保護生物・生育環境の維持管理事業
- ③野鳥の飛来・営巣環境保全のための環境保全事業
- ④水生生物の生息環境再生事業
- ⑤動植物についての継続的な調査・記録・報告
- ⑥市が実施する自然観察会等をはじめとする環境教育への支援事業
- ⑦地下水位等測定に関する事業

市川市は、モニタリングデータを基にぼっけ生きもの倶楽部が作成した緑地の維持管理の提言書に準じて、維持管理を実施しています。



四季を通じて多くの野鳥が観察できます。



緑地で観察された野鳥、植物、昆虫などの写真や、四季に見られる生物カレンダーなどの資料を、ビジターセンターに展示し、市民が自然に触れる手助けをしています

DATA

活動地：東京都国立市

面積：約 3,700㎡

活動開始時期：2006年4月



活動内容について

ママ下湧水公園は東京都国立市泉地区に位置する国立市の公園です。園内には青柳崖線上の樹林帯、崖線（ママ）下より湧出する湧水群を集めて流れるママ下水路、造成された湿地がみられます。さらに、周辺には疏水百選（農林水産省）に選定された府中用水とその受益水田が存在し、これらと一体となった景観が特徴です。

市役所や専門家と協力しながら、市民が主体となって月に一回程度集まり、湿地・水路・崖線樹林の維持管理、清掃活動を主に行っています。生物の生息場としての役割と、自然公園としての利用や景観との両方に配慮した維持管理方法の確立を目指して活動しています。

造成した湿地では、絶滅危惧種であるホトケドジョウやドジョウ、ニホンアカガエルが生息および繁殖するようになりました。湿地やママ下水路では魚類を狙ってサギ類、カワセミが飛来します。周辺の水田や畦畔でみることの少なくなった植物が生育するようになりました。都内ではこうした景観および生物相を有する場所が著しく減少しており、本公園の持つ重要性も高まっていると考えています。



湧水を集めて流れるママ下水路の護岸を補修しています



造成された湿地の中で採捕された生き物です。都内では希少な種が多数みられます

DATA

活動地：東京都葛飾区

面積：約 106,000㎡

活動開始時期：2001 年 3 月

URL：<http://mizumoto-np.topaz.ne.jp/home.html>



活動内容について

NPO 法人水元ネイチャープロジェクトは、東京都水産試験場跡地に残る貴重な自然を残そうと、2001 年 3 月に設立されました。東京都水産試験場の跡地は、1960 年代の水元の自然を復元することを目的に東京都立水元公園の復元ゾーンとして整備され、複数の池や湿地からなる水郷景観となっております。復元ゾーンには、東京都の天然記念物であるオニバスや、準絶滅危惧種であるアサザやタコノアシが自生しており、東京 23 区内にありながら貴重な動植物の生息・生育地となっております。

しかし一方でブルーギルやライギョ、ウシガエル、アカミミガメ類や外来のオオアカウキクサなどが確認されるなど外来種が多数生息・生育しており、希少な動植物への影響が懸念されております。また、オオタナゴなどこれまで生息が確認されていなかった外来種が見つかることもあり、定期的な調査と駆除活動が欠かせない状況です。

そこで当 NPO では、この復元ゾーンを中心に希少な動植物の保護活動や定期的な調査、外来種駆除活動等を行っており、これらと並行して子どもだけでなく大人も楽しめる学習活動を行っております。



1月に行われたかいぼりの様子。氷を割りながらの作業でした



生きものの説明に、大人から子どもまで興味津々です

特定非営利活動法人 ^{や た む ざ い} 谷田武西の原っぱと森の会 —谷田武西の谷津と原っぱ—

File 49

DATA

活動地：千葉県白井市・印西市

面積：268,208㎡

活動開始時期：2008年9月



活動内容について

谷田・武西の里山は、千葉ニュータウン中央駅から約1kmと、都市に隣接して広がっています。この地は、江戸時代に軍馬の放牧地として利用された印西牧の一部にあたります。ニュータウン開発計画で企業庁が取得したあとも、計画的な草刈りなどが行われてきた結果、奇跡的ともいえる状態で草原性植物が残されました。エリアには4本の谷津があり、湧水と湿地、樹林地、草原からなる景観が広がり、多数の、希少な動植物が確認され、生物多様性に満ちた環境を保っています。

当会は、エリア内にある企業庁所有の開発除外地を、「市民の森」として残していくことを目的として活動しています。「市民の森」の実現を行政等に働きかける一方で、企業庁に立ち入りを申請して、モニタリング調査や、草刈り、外来種除去などの保全・保護作業を行い、あわせて、谷津などに不法投棄された大小様々なごみの撤去などを継続的に進めています。

また、身近にひろがる豊かな自然環境を広く知っていただくために、大学等の教育機関と連携して調査・研究を進めるとともに、市民を対象とした自然観察会や、親子の里山散策、土いじり体験などに取り組んでいます。



虫の観察会の様子。ほかにも植物、鳥、キノコなど季節によって対象を変えて開催しています



水辺の調査の様子。保全作業はモニタリングのもとに行い、データを積み重ねています

DATA

活動地：東京都あきる野市

面積：485,675㎡

活動開始時期：2001年1月

URL：<http://www.ab.auone-net.jp/~yokosawa/>



活動内容について

横沢入は、東京都あきる野市の中央部にある里山で、広大な中央の湿地と田んぼ、複雑に入り組んだ支沢、それらを取り囲む低山の雑木林と人工林からなり、ヤマトセンブリ、ゲンジボタル、ヘイケボタル、モートンイトトンボ、ホトケドジョウ、トウキョウサンショウウオ、カヤネズミなど貴重な生物の宝庫でもあります。2006年に東京都で第一号の「里山保全地域」に指定されました。

住宅開発の計画があったこの土地で、自然観察や遺跡見学などの活動を行っていたいくつかの市民団体が「横沢入里山管理市民協議会」を結成したのは開発計画が頓挫した2001年でした。以来、○アゼを復元して湿地を造る ○増えすぎたヨシやガマを抜き、夏草を刈って開放水面を造る ○オオブタクサなどの外来植物の駆除 ○繁茂しすぎたアズマネザサやヤナギ林を整理 ○6月中旬から8月はじめまで週一回のホタル調査

○カヤネズミの球巣を探して記録する調査などの活動を続けています。また、2011年からは季刊で通信誌の発行をはじめ、活動への都民の理解や参加を呼びかけています。



増えすぎたヨシを根ごと引き抜きます。こうして、トンボやホタルの産卵のために水面を開きます



トウキョウサンショウウオの卵嚢数を調べます。湿地整備の成果を調査で確認します

DATA

活動地：栃木県小山市・栃木市

面積：60,000㎡

活動開始時期：2010年4月

URL：<http://watarase-mirai.jimdo.com/>



活動内容について

渡良瀬遊水地 (3,300ha) は、約 100 年前に、谷中村等を廃村して作られた遊水池ですが、貴重な植物 (60 種を超える絶滅危惧種) やチュウヒなどの猛禽類が生息する自然豊かな場所です。2012 年 7 月には、2,861ha がラムサール条約に登録されました。

「わたらせ未来基金」は、渡良瀬川流域の自然環境を再生させるとともに、失われた氾濫原の湿地環境を渡良瀬遊水地に再生させることを目的に 2001 年に設立されました。渡良瀬遊水地では、自然観察会、市民対象のヨシ刈り、小学校とのヨシ刈りとヨシズ編み体験、ヨシ焼き前の防火帯作り、ヨシ焼き前のクリーン作戦、ヨシ腐茎土作り、ヨシ腐茎土を使った足尾の緑化、渡良瀬遊水地の土を使ったビオトープづくりの援助などを行っています。

「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」(関東地方整備局利根川上流河川事務所・2010 年 3 月) に、環境学習・地域連携の場として、渡良瀬遊水地を活用することがうたわれ、第2調節池に環境学習フィールドが整備されました。私たちは、環境学習フィールドにおいて「湿地保全・再生プロジェクト」を立ち上げて、動植物のモニタリング、自然観察会、湿地の保全作業を続けています。



環境学習フィールドのシードバンクから再生したタコノアシ



環境学習フィールドにおける湿地の保全作業

赤城姫を愛する集まり

—赤城山ヒメギフチョウ生息地—

File 52

DATA

活動地：群馬県渋川市

面積：700,000㎡

活動開始時期：1987年4月

URL：http://sky.geocities.jp/amb_akagi/akagihime/



活動内容について

ヒメギフチョウは1986年に群馬県の天然記念物に指定されました。生息地は標高1,100 m付近の雑木林でカモシカ・ツキノワグマや、クマタカなどの鳥類も多く生息しています。植物でも10種以上のスミレ類が確認されるなど生物多様性の豊かな地域です。しかし、指定後も下草の繁茂が著しく、生息環境として適さなくなりヒメギフチョウの絶滅が懸念されていました。

生息地では「赤城姫を愛する集まり」が野外での観察データを20年以上蓄積しています。データをもとに「ヒメギフチョウ保護連絡協議会」は『ヒメギフチョウ保護管理計画書』を作成し、これにのっとり生息環境整備等の事業を実施しています。協議会は集まりを含めた地域の研究者、地域の住民、行政担当者で組織され、事務局は渋川市教育委員会文化財保護課です。

現在は行政の委託による間伐、地域小学校の父親クラブが中心になり実施される下草刈り等により生息環境の整備が行われています。下草刈りには毎年100名以上の参加があります。小学生が育てた雑木苗と食草の植え付けも実施しています。活動はヒメギフチョウの保全にとどまらず、広報等も得て住民全体が支える、地域環境の保全活動に広がっています。



下草の整理された雑木林では、毎年5月、ヒメギフチョウの姿を見ることができます



チョウの舞う自然をいつまでも残そうと、地元の方々が頑張っています

DATA

活動地：埼玉県朝霞市

面積：200,000㎡

活動開始時期：2004年4月

URL：<http://blog.canpan.info/asakanokankyo/>



活動内容について

あさか環境市民会議は、朝霞市環境基本計画に基づき2004年に設立されました。自然部会では、朝霞の自然環境の保護、保全、そして再生を目標に4ヶ所の斜面林で活動しています。それぞれの場所で月一回の作業を基本としています。

対象の根岸台8丁目にある雑木林は、台地の上の「根岸台自然公園」をとりまく斜面林と、それに続く斜面林から構成されています。タマノカンアオイ、ヤマホトトギス等、何種類もの希少植物も生育しています。朝霞市が行った調査では、絶滅危惧種に指定された昆虫も見つかっています。オオタカの食痕に出会うこともたびたびです。

中には何ヶ所も水が湧き、その湧水で出来た湿地があります。この湿地には、サワガニ、オニヤンマのヤゴ等が生息しています。

しかし、湿地は手入れできなかつたため、次第に枯れ草や枯れ枝が堆積しネコノメソウなどの湿地の植物の生存場所が減ってきています。このため、湿地の生態系の保全と維持のために、これから活動の範囲を広げたいと思っています。市や県と市民、そして、事業者との有機的な協働で、都心に近い武蔵野の森をもっともっと生きものの豊かな森にする活動をめざしています。



湿地にすんでいるサワガニ。暑い季節は林内の倒木の影に隠れていることも



手入れが進んで竹藪を切り開いた場所に芽を出すようになりました。種が待っていてくれたようです

DATA

活動地：千葉県市川市

面積：23,000㎡

活動開始時期：2010年6月

URL：<http://ichikawa-midori.net/index.htm>



活動内容について

選定地は市川市内の北西部、下総台地が江戸川に接する場所にあります。選定地内にある斜面林は1976年に千葉県が行った天然記念物実態調査でも「都市部にあって奇跡的に残された樹林地で保全が望ましい」とされた斜面林です。江戸川と都市河川の坂川の旧河口部があり、国土交通省江戸川河川事務所が行った堤防工事により、旧坂川河口部は江戸川のワンドのようになった部分と堤防外の止水域になっています。絶滅危惧種のフジバカマ（千葉県内の自生地は数ヶ所のみ）などが自生し、クロベンケイガニが多数生息し、カワセミが営巣する場所です。

会員数は約120名です。年6回の例会（学習会、講演会、観察会など）実施と、年6回の会報「みどりのふおーらむ」発行しています。また、私たちは市川市の自然・歴史・文化を生かしたまちづくりを求め、都市緑地の保全、市川の海「三番瀬」の保全などについて、行政に具体的な提言を行っています。選定地の「国府台フジバカマの里」も、市川市に提案しています。「市川市北西部水と緑の回廊構想」の中の重要な生物多様性を守る拠点として位置づけています。



江戸川堤防からワンド状になった旧坂川河口部を見る。左手に下総台地の斜面林が見える



9月から10月にかけて旧坂川沿いに絶滅危惧種のフジバカマが咲く

DATA

活動地：茨城県日立市

面積：1,000㎡

活動開始時期：2011年6月

URL：<http://www.hitachi1-h.ed.jp/>



活動内容について

東滑川海浜緑地は、数多くの洞穴があり、そのいくつかは水面全体を鮮やかな黄金色で覆ったヒカリモによる膜が観察されます。ヒカリモの生態はとても不思議で、5 μm (100万分の1mm) ほどの小さな淡水生の単細胞生物が、水中にいるときは鞭毛で泳ぎ、黄金色の膜を観察すると疎水性の柄を持って水面に立ち上がっています。東滑川海浜緑地のヒカリモは、冬場も黄金色の膜が観察される数少ない群生地で、一年中観察でき、定期的な発生地^{べん}の北限とされています。本校は「日立市公園里親制度」に参加し、日立市の協力を得て保護・研究に努めています。

「ヒカリモの不思議な生態」「津波の被害をのりこえたヒカリモの能力を探る研究」の研究テーマで、大学・学会等で発表し、高い評価を受けました。また、本校附属中学生や地元NPO団体に対して現地観察会なども実施しています。

ヒカリモの主な生殖方法は、無性生殖と考えています。無性生殖を行う生物は、環境条件が適しているときは効率よく個体数を増やすことはできますが、環境の変化に弱いです。つまり、公園内の生態系が変化したとき、一番敏感に反応するのはヒカリモだと考えられます。ですから、ヒカリモを保護することは、公園全体を保護することにつながります。



公園内には、人為的に作られた数多くの洞穴があり、泥、枯葉、雨水が溜まっています



わずかに入る光を反射し、水面が黄金色の金属光沢を呈し、幻想的な輝きを見せます

DATA

活動地：千葉県

面積：11,550,000㎡

活動開始時期：1984年11月

URL：<http://www.i-kouiki.com/imbanuma.htm>



活動内容について

印旛沼は利根川下流の下総台地の中央に位置しています。古くからこの地の豊かな自然をはぐくみ、水辺に暮らす人々に潤いと活力を与えてきました。

湖沼の広さは11.55km²、平均水深1.7m。飲料水や農業用水、工業用水の水源、また漁業や観光の場として私たちの生活に無くてはならない大切な沼です。

近年、流域の都市化に伴った人口の増加などにより、印旛沼の水質悪化や周辺の環境が危惧されています。私たちの生活と沼と自然環境のバランスを修復し、きれいな水を湛えた印旛沼を次の世代に繋ぐことが、今の私たちに課されている責務です。

財団法人印旛沼環境基金は、印旛沼と周辺地域の水質・環境の保全を目的として千葉県と印旛沼流域13市町によって設立された公益法人です。

沼を身近に知ってもらう「屋形船による印旛沼観察会」には毎年多数の応募があり、流域の小中学生が描いた身近な水辺を通して豊かな自然のあり方を考えさせる「水辺の風景画コンクール」は、今年で15回目を迎えました。また、印旛沼の歴史などを学ぶ「公開講座」、市民団体や学校への「助成事業」、啓発刊行物の発行など、流域住民を対象とした様々な事業を展開しています。



屋形船に乗って講師の説明を聞きながら印旛沼の自然と現状を観察します



このかけがえない印旛沼を永く子孫に引き継ごう

DATA

活動地：神奈川県鎌倉市

面積：481,000㎡

活動開始時期：2003年4月

URL：<http://www.hiromachinomori.org/>



活動内容について

鎌倉市の西、江の島を望む地に、周囲を住宅地に囲まれた約60haの「広町緑地」呼ばれる、自然豊かな緑地があります。30年余の市民による宅地開発阻止の運動により、奇跡的に保全された貴重な緑地です。

2002年に保全が決まりその翌年、市内の環境関連40数団体により緑地の保全・維持管理を目的に当会が発足、活動を開始。2005年には、緑地の約48haの法的な保全が決まり、公園としては生物多様性を維持・向上する「都市林」と決定。これを契機に、市と協働で5つのボランティアグループ（田んぼの会、畑の会、森の会、自然観察の会、散策路の会）を立ち上げ、1960年代の里山景観の復元を目標に、森の手入れや田んぼ・畑を復元して、生き物の生息環境を整備しています。

春は、近隣の子どもたちと、植樹や田植え、サトイモの植え付けなどを行います。秋には、田んぼや畑の収穫物で、おにぎりやお餅、イモ煮などを提供し、収穫物の展示など、収穫祭を開催します。四季折々、子どもたちが訪れ、中・高校生は、ボランティア活動に参加。また、かながわトラストみどり財団のご指導で、「かまくら緑の探偵団」を立ち上げ、広町緑地を活動拠点にして、活動しています。



緑地周辺の子どもたちによる植樹祭でのコマ



神奈川県下の子どもたちによる稲刈り

DATA

活動地：埼玉県久喜市

面積：24,741㎡

活動開始時期：2006年9月

URL：<http://ecokuki.eco.to/>



活動内容について

香取公園は久喜パークタウン地区内に中落堀川なかおとしほりがわの調整池として設けられ、久喜市が管理・運営する公園です。中心部をビオトープに周辺部をジョギングロードとして整備された公園です。このため、敷地内は低湿地の水辺と陸地となっており、アオサギ・カイツブリ・カルガモなどの多くの野鳥が棲みかとし、水辺にヌマトラノオ・タコノアシ、やや湿った草地にコキツネノボタン・ヤガミスゲ、ヨシ原内にハンノキなどの植物が生息するサンクチュアリ公園で、地域の生物多様性の再現の拠点となる現状にあります。また、ビオトープという特性上、公園内での花火や釣りは禁止されており、管理関係者以外は水辺に降りることは許可がなければできません。来園者は園内の野鳥観察広場から、野鳥などを観察することができます。

「(財) 埼玉県生態系保護協会 久喜支部」は、公園内の野鳥観察広場がセイタカアワダチソウやクズが生い茂り、活用できない状況を目の当たりにし公園整備を呼びかけ、作業は市職員・市民・会員の協力により、年2回程度公園整備事業として、樹木の枝払い、要注外来生物であるオオブタクサやセイタカアワダチソウなどの排除と不法投棄されたゴミの除去を行っています。



外来種植物の駆除、樹木の枝払い、不法投棄ゴミ回収作業で気持ちよい汗



「野鳥の棲みか調整池とその水辺」と羽を休める「アオサギ」

DATA

活動地：神奈川県茅ヶ崎市

面積：50,000㎡

活動開始時期：2000年4月

URL：<http://sannsukai.eco.to/pc.html>



活動内容について

茅ヶ崎市と寒川町にわずかに残った水田のうち約5haが「湘南タゲリ米の里」です。周囲には宅地化の波が押し寄せ、高速道路の立体交差もできていますが、春には子どもたちが凧揚げを楽しみ、夏の梅雨時期よりギンブナ、コイ、モツゴ、ドジョウやナマズも産卵の場を求めて遡上します。またお米の収穫を迎える秋には彼岸花が咲き、冬にはタゲリなどの冬鳥が飛来します。

三翠会は、都市近郊に残されたこの貴重な水辺と水環境を守っていかうと、2000年に「湘南タゲリ米」プロジェクトを立ち上げました。湘南タゲリ米は、三翠会が農家から通常より高く買い上げ、趣旨を理解し賛同する多くの方々に購入いただいています。プロジェクトの主な目的は農家に稲作を続けていただくことですが、この地の持つ多面的な価値を地域の住民に伝えていくことも、私たちの重要な役割だと考えています。

そのような思いから、地域の自治組織や学校、行政と密に協力しながら、田植えから収穫までの米作り、魚道やビオトープの整備、たんぼ授業、生物調査などさまざまな取り組みを行ない、環境を維持する努力を続けています。



「湘南タゲリ米」は年1回出荷され、タゲリ米通信や年ごとのオマケが同封されます



水田脇のビオトープ水田には井戸から水が通年供給され、冬にはサギやカルガモなどもやってきます

DATA

活動地：群馬県前橋市

面積：643,000㎡

活動開始時期：2002年4月

URL：<http://www.sandenforest.com/>



活動内容について

サンデンファシリティでは「管理と活用」という方針のもと、地域の各種団体の皆さんの知恵と工夫を借りながら、サンデンフォレストの運営を行ってきました。

サンデンフォレストでは毎年5千人以上の自然体験活動を受入れています。その他、様々な団体がフォレストを活動の場として自然観察会・野鳥観察会・森づくり・木登り体験・Eボートからの森観察などに利用しています。

また、フォレスト開発前から生態系のモニタリング調査を実施してきました(1999年実施)。2011年まで3年毎に合計5回の調査を実施してきており、赤城山麓の複層的な里山の自然な成長を調節池のビオトープ化等も実施しながら育てています。レッドデータ種も多数確認されていますので、それらについても保護・育成の姿勢で臨み、現在は開発前の自然以上の種を観察できるまでになりました。

我々の活動は、昨年度 OECD のウェブサイトで「世界の先進的取組事例7社」の一つとして紹介されました。また、2012年は生物多様性条約 COP11 にて「産業と環境の矛盾なき共存」をコンセプトとした開発の取組を紹介し、世界からも注目されています。



春の自然を楽しもうと題した観察会では大勢の人に来ていただいています



ビオトープ内の調節池では貴重な野鳥を見ることができます

DATA

活動地：群馬県太田市

面積：5,000㎡

活動開始時期：2003年5月

URL：http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/



活動内容について

太田市新田地域には、赤城山の南東麓斜面に位置する大間々扇状地があり、この扇端にはかつては118ヶ所の湧水地群が記録され農業に利用されてきました。近年活用されなくなった多くの湧水地は埋め立てられたり放置されたりしていますが、現在でも約30ヶ所の湧水地で水が湧き出ています。

湧水地は、生物の源である水を生み出し、身近な水辺のある風景として多くの人に安らぎを与えられる場、さらに、次世代を担う子どもたちの自然環境の学習の場としても重要であることから、現在残されている数少ない湧水地を我々市民団体や地元・行政が連携して、自然環境としての質の向上を図り、身近に水辺と緑のある原風景を目指して次のような保全活動を実施しています。

湧水地及びその下流水路と周辺の環境調査、除草やゴミ清掃、子どもたちの水辺自然環境観察の学習補助、環境フェアー等のイベントにおいて湧水地を取り巻く自然環境の現状の紹介や見学会の開催等に取り組んでいます。

今後は残されている湧水地の中で、自然環境が豊かな矢太神沼及び谷地池周辺について勢力を増してきている外来種の除去、自然観察施設の整備等について関係機関とともに対策を講じていきたいと考えています。



良好な環境を残したいとの共通の思いから大勢の参加のもとに実施した環境管理作業



水路河岸が自然植生のまま湧水が流れる、かつての小川のイメージが残されている水路

水辺の丘運営協議会

—国土交通省首都圏外郭放水路 庄和排水機場地域内— File 62

DATA

活動地：埼玉県春日部市

面積：15,000㎡

活動開始時期：2005年4月



活動内容について

春日部市の国道16号線地下に2006年、首都圏外郭放水路が大落古利根川から江戸川の間で完成しました。市内5河川の溢れた水を江戸川へ放水する庄和排水機場（龍Q館）周辺を「水辺の丘」といい、活動拠点としています。その年、龍Q館地下の調圧水槽の上（グラウンド）東・西・南法面に地域本来の樹木苗25種類27,000本を市民延2,700人で植樹し、これを「水辺の森」としました。

市民団体G-CANS主体による育樹活動は、植樹後のつる性植物駆除から始まり、15種類合計600本の生長量・生存率調査（モニタリング）と専門家の植生調査により森は順調に生育していることを確認できました。森と生きもの関わり方を調べるために、江戸川と田んぼの間に位置する「水辺の森」で自然観察会をしています。

さらに、龍Q館敷地内の三角池が整備されると、水辺の生きもの観察が出来ると期待しています。

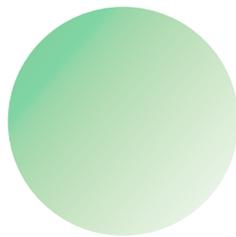
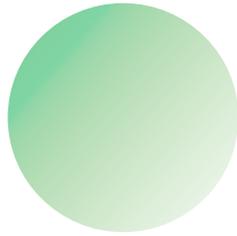
国土交通省江戸川河川事務所・春日部市役所・G-CANSの連携を深め、将来は樹木が生長した「水辺の森」で木登りや樹上小屋などで子どもたちの遊び場にもなる自然環境づくりを目指しています。



選定した樹木に番号札をつけてモニタリングします
(2009年3月)



管理作業から親子参加の虫さがしなど、季節ごとに自然観察会を開催しています



発行

社団法人 関東建設弘済会

埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 4-262-16
マルキュービル 9階
TEL.048-600-4157

編集

公益財団法人 日本生態系協会

TEL.03-5951-0244
<http://www.ecosys.or.jp/100select/>